

## 回 答 書

工事名：皆実雨水排水ポンプ場土木工事（3-1 工区）

|   | 質 問 事 項   | 回 答   |
|---|---|---|
| 1 | 入札公告の別紙（1）ウ「⑦その他」の工事管理者（在来線）に関する要件についての記載に「工事管理者（在来線）を常時配置できる者。」とありますが、JR 西日本と協議の上、配置が必要と指示があった期間に配置すると考えて宜しいでしょうか。ご教授ください。 | お見込みのとおりです。   |
| 2 | 工事管理者（在来線）につきまして、入札参加希望時に配置予定の工事管理者を提出しますが、資格を満たしていれば、提出した者とは異なる工事管理者を配置する事は可能でしょうか。ご教授ください。                                | 可能です。   |
| 3 | 工事期間について、工事完了時期が令和4年3月31日と記載されておりますが、期間内での竣工は厳しいと考えられます。工期延伸は可能と考える宜しいでしょうか。ご教授ください。  | 関連する別途工事との工程調整も含めて、必要に応じて別途協議により対応します。                  |
| 4 | 本工事は、河川区域内での施工となります。施工時期の制約を受ける工種がありますでしょうか。制約を受ける場合、工期・工程等の見直しは可能でしょうか。ご教授ください。  | 到達立坑工、推進工等が該当します。関連する別途工事との工程調整も含めて、必要に応じて別途協議により対応します。 |
| 5 | 堤防での工事を施工する際の工事車両運行ルートをご教授ください。運行ルートに補強や養生等が必要となった場合、設計変更対象と考える宜しいでしょうか。ご教授ください。  | 沼田川の左岸堤防を通るルートを想定しています。補強や養生については、別途協議により対応します。         |

|   |  |                             |
|---|--|-----------------------------|
| 6 | 高圧噴射攪拌工で、柱状図から相違が発生し工法等に影響が出る場合、設計変更対象と考えて宜しいでしょうか。ご教授ください。                            | 想定土質の相違がある場合は、別途協議により対応します。 |
| 7 | 高圧噴射攪拌工で、原設計から杭径の変更は可能でしょうか。ご教授ください。   | 杭径の変更は、施工承諾として対応します。        |
| 8 | 泥濃式推進工の推進時の対象土質は砂質土粘性土となっておりますが、実際は改良後の推進となります。日進量に変更なった場合、設計変更対象と考えて宜しいでしょうか。ご教授ください。 | 日進量の相違がある場合は、別途協議により対応します。  |